授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	01	
授業科目	トレーニング基礎理論Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	運動生理学に関する基礎的知識を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	運動生理学に関する基礎的な知識の習得	
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション，筋系，神経系，骨格筋系の構造と機能（筋系）
	2	筋系，神経系，骨格筋系の構造と機能（神経系）
	3	筋系，神経系，骨格筋系の構造と機能（骨格系）
	4	筋系，神経系，骨格筋系の構造と機能の理解度確認テスト，テスト解説
	5	心肺系とガス交換（心臓血管系の解剖生理学①）
	6	心肺系とガス交換（心臓血管系の解剖生理学②）
	7	心肺系とガス交換（呼吸器系）
	8	心肺系とガス交換の理解度確認テスト，テスト解説
	9	生体エネルギー機構（基本的な専門用語，エネルギー供給機構①）
	10	生体エネルギー機構（エネルギー供給機構②）
	11	生体エネルギー機構（基質の消費と補給，酸素摂取量および運動に対する有酸素性代謝と無酸素性代謝，エネルギー供給機構の現場における応用）
	12	生体エネルギー機構の理解度確認テスト，テスト解説
	13	問題演習，問題演習の解説
	14	科目習得試験，科目習得試験の解説
	15	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	02
授業科目	トレーニング基礎理論Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	機能解剖とバイオメカニクスに関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	機能解剖とバイオメカニクスに関する基礎的な知識の習得
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，力学の基礎① 2 力学の基礎② 3 力学の基礎の理解度確認テスト，テスト解説 4 身体動作のバイオメカニクス① 5 身体動作のバイオメカニクス② 6 身体動作のバイオメカニクスの理解度確認テスト，テスト解説 7 筋による動作の制御 8 レジスタンスエクササイズのバイオメカニクス 9 筋による動作の制御，レジスタンスエクササイズのバイオメカニクスの理解度確認テスト，テスト解説 10 科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	03	
授業科目	トレーニング基礎理論Ⅲ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	トレーニングに対する生理的適応について基礎的知識を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	トレーニングに対する生理的適応について基礎的知識を習得する	
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション，レジスタンストレーニングの基本的適応
	2	レジスタンストレーニングへの短期的適応
	3	レジスタンストレーニングへの長期的適応
	4	レジスタンストレーニングへの適応に影響を与える要因，オーバートレーニング，ディトレーニング
	5	レジスタンストレーニングへの適応の理解度確認テスト，テスト解説
	6	有酸素性持久力運動への短期的応答
	7	有酸素性運動に対する長期的適応
	8	有酸素性持久力トレーニングへの適応に影響を及ぼす要因，オーバートレーニング，ディトレーニング
	9	有酸素性持久力トレーニングへの生理学的な反応と適応の理解度確認テスト，テスト解説
	10	科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	04	
授業科目	トレーニング基礎理論Ⅳ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	スポーツ栄養学に関する基礎的知識を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	スポーツ栄養学に関する基礎的知識を習得する	
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション，栄養に関するパーソナルトレーナーの役割，栄養カウンセリングと栄養指導は誰が行うのか
	2	食事評価，エネルギー
	3	栄養素
	4	増量，減量，減量食の評価サプリメント
	5	栄養に関する助言の要点
	6	パーソナルトレーニングにおける栄養の理解度確認テスト，テスト解説
	7	食事評価の実践演習
	8	減量計画の立案
	9	食事に関するアドバイスの実践演習
	10	科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	05
授業科目	トレーニング基礎理論Ⅴ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	運動心理学に関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	運動心理学に関する基礎的知識を習得する
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，運動におけるメンタルヘルス① 2 運動におけるメンタルヘルス② 3 目標設定 4 目標設定の実践演習 5 動機付け 6 クライアントを動機付ける方法 7 パーソナルトレーナーのための運動心理学の理解度確認テスト，テスト解説 8 動機付け面談の実践演習① 9 動機付け面談の実践演習② 10 科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	06	
授業科目	トレーニング応用理論Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	クライアントとの面談・スクリーニングに関する基礎的知識を身に付ける	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	クライアントとの面談・スクリーニングに関する基礎的知識を身に付ける	
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション，面談と健康評価の目的，実施手順
	2	クライアントとの面談，参加前の健康評価スクリーニング
	3	冠状動脈の危険因子，疾患および生活習慣の評価
	4	結果の解釈，医師への照会手続き、医師による許可
	5	初回面談と評価の理解度確認テスト，テスト解説
	6	体力評価の目的，適切な評価の選択
	7	評価のケーススタディ，テストの計画と実施
	8	結果の解釈と検討，再評価
	9	体力テスト法と評価基準①バイタルサイン
	10	体力テスト法と評価基準②身体組成・形態測定
	11	体力テスト法と評価基準③心臓血管系持久力，筋力
	12	体力テスト法と評価基準④筋持久力，柔軟性
	13	体力評価の選択と管理，体力テスト法と評価基準の理解度確認テスト，テスト解説
	14	科目習得試験，科目習得試験の解説
	15	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	07
授業科目	トレーニング応用理論Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太
	実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、レジスタンストレーニングプログラムの作成に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	レジスタンストレーニングのプログラムデザインに関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簡易的なレジスタンストレーニングのプログラムデザインができるようになる
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1　授業オリエンテーション，一般的なトレーニング原則，初回面談と体力評価
	2　トレーニング頻度の決定，エクササイズ種目の選択
	3　エクササイズの順序，トレーニング負荷：負荷と反復回数
	4　トレーニング量：レップ数とセット数，休息時間
	5　バリエーション，トレーニングの連続性
	6　漸進性，トレーニング目標を達成するためのプログラム例
	7　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	8　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	9　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	10　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	11　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	12　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	13　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	14　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	15　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	16　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	17　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	18　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	19　レジスタンストレーニングのプログラムデザイン
	20　科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	08
授業科目	トレーニング応用理論Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太
	実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、有酸素性持久力トレーニングプログラムの作成に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	有酸素運動のプログラムデザインに関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	有酸素運動のプログラムデザインができるようになる
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1　授業オリエンテーション，有酸素性持久力トレーニングの特異性，有酸素性持久力トレーニングプログラムの要素 2　有酸素性持久力トレーニングプログラムのタイプ 3　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 4　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 5　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 6　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 7　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 8　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 9　有酸素性持久力トレーニングのプログラムデザイン 10　科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	09
授業科目	トレーニング応用理論Ⅳ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太
	実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、プライオメトリックス及びスピードトレーニングのプログラム作成に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	プライオメトリクスとスピートトレーニングに関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	プライオメトリクスとスピートトレーニングのプログラムデザインができるようになる
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1　授業オリエンテーション、プライオメトリックスの理論 2　プライオメトリックスのプログラムデザイン 3　プライオメトリックスのプログラムデザイン 4　プライオメトリックスのプログラムデザイン 5　プライオメトリックスのプログラムデザイン 6　スピードトレーニングの理論 7　スピードトレーニングのプログラムデザイン 8　スピードトレーニングのプログラムデザイン 9　スピードトレーニングのプログラムデザイン 10　科目習得試験，科目習得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	10
授業科目	トレーニング応用理論Ⅴ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	特定のクライアントのプログラムデザインに関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	特定のクライアントのプログラムデザインができるようになる
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、前青年期の子ども 2 高齢者 3 妊婦 4 前青年期の子ども，高齢者，妊婦のクライアントの理解度確認テスト，テスト解説 5 体重過多と肥満① 6 体重過多と肥満② 7 摂食障害、高脂血症 8 メタボリックシンドローム，糖尿病 9 栄養と代謝に問題を抱えるクライアントの理解度確認テスト，テスト解説 10 健康評価スクリーニングと危険因子の階層化，高血圧 11 心筋梗塞，脳卒中と末梢血管疾患 12 慢性閉塞性肺疾患，喘息，心臓血管系疾患および呼吸器系疾患を有するクライアントの理解度確認テスト，テスト解説 13 傷害の分類，傷害が機能に及ぼす影響、損傷後の組織修復，整形外科的問題とパーソナルトレーナー 14 下背部 15 肩 16 足関節，膝 17 股関節 18 関節炎，関節リウマチ，整形外科的疾患や傷害を有するクライアントとリハビリテーションの理解度確認テスト，テスト解説 19 脊髄損傷 20 多発性硬化症 21 てんかん，脳性麻痺 22 脊髄損傷，多発性硬化症，てんかん，脳性麻痺患者についての理解度確認テスト，テスト解説 23 アスリートを対象にしたレジスタンストレーニング，アスリートを対象にしたレジスタンストレーニングの理解度確認テスト，テスト解説 24 科目習得試験，科目習得試験の解説【講義】 25 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	11
授業科目	トレーニング応用理論Ⅵ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	施設・機器のメンテナンス，関係法令に関する基礎的知識を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	施設・機器のメンテナンス，関係法令に関する基礎的知識を習得する
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，施設の設計と計画 2 施設の仕様に関するガイドライン 3 エクササイズ機器の選定 4 フロアプランと機器の構成 5 ホームジムについての考察，施設のメンテナンス 6 施設と機器の配置およびメンテナンスの理解度確認テスト，テスト解説 7 パーソナルトレーニングの法的側面 8 パーソナルトレーニングの法的側面の理解度確認テスト，テスト解説 9 科目習得試験，科目習得試験の解説 10 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	12	
授業科目	トレーニング実技Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実技	
授業時間	４０時間	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	柔軟性トレーニング，W-up，自重トレーニングの実技能力を養成する	
授業の進め方	テキストによる講義と実技練習により、技能の向上を図る	
達成目標	柔軟性トレーニング，W-up，自重トレーニングの実技能力を習得する	
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識	
特記		
授業計画	1	柔軟性の定義，総合的なエクササイズプログラムの一要素としての柔軟性トレーニング，柔軟性トレーニングの利点 等
	2	柔軟性に影響を及ぼす要因，弾性と可塑性，柔軟性トレーニングのタイプ（概要） 等
	3	柔軟性トレーニングのタイプ（バリスティックストレッチング，静的ストレッチング），静的柔軟性エクササイズの実践 等
	4	静的柔軟性エクササイズの指導実技
	5	柔軟性トレーニングのタイプ（固有受容性神経筋促通法），固有受容性神経筋促通法（PNF）の実践 等
	6	固有受容性神経筋促通法（PNF）の実技
	7	柔軟性トレーニングのタイプ（動的ストレッチング），推奨される柔軟性ルーティンとガイドライン，動的柔軟性エクササイズの実践 等
	8	動的柔軟性エクササイズの指導実技
	9	ウォームアップ，ウォームアップの指導実技 等
	10	ウォームアップの指導実技
	11	自重とスタビリティボールエクササイズ（自重トレーニング），自重トレーニングの実践①
	12	自重トレーニングの指導実技
	13	自重とスタビリティボールエクササイズ（スタビリティボールトレーニング），スタビリティボールトレーニングの実践 等
	14	スタビリティボールトレーニングの指導実技
	15	指導実技の実践練習
	16	指導実技の実践練習
	17	ウォームアップ，柔軟性エクササイズ，自重エクササイズの指導実技試験
	18	ウォームアップ，柔軟性エクササイズ，自重エクササイズの指導実技試験
	19	科目修得試験，科目修得試験の解説
	20	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	トレーニング実技Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太 実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、レジスタンストレーニング指導に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実技
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	レジスタンストレーニングの実技能力を養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実技練習により、技能の向上を図る
達成目標	レジスタンストレーニングの実技能力を習得する
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 NSCAレジスタンストレーニングのためのエクササイズテクニック 筋トレのための人体解剖図
特記	

授業計画

1	基本的なエクササイズテクニックのガイドライン	26	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）
2	レジスタンスエクササイズにおける補助，理解度確認テスト，テスト解説	27	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅤ）
3	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	28	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅤ）
4	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	29	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅤ）
5	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	30	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅤ）
6	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	31	指導実技の実践演習（フラット・バーベルベンチプレスの指導）
7	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	32	指導実技の実践演習（フラット・バーベルベンチプレスの指導）
8	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅠ）	33	指導実技の実践演習（フラット・バーベルベンチプレスの指導）
9	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	34	指導実技の実践演習（フラット・バーベルベンチプレスの指導）
10	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	35	フラット・バーベルベンチプレスの指導実技試験
11	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	36	フラット・バーベルベンチプレスの指導実技試験
12	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	37	指導実技の実践演習（バックスクワットの指導）
13	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	38	指導実技の実践演習（バックスクワットの指導）
14	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅡ）	39	指導実技の実践演習（バックスクワットの指導）
15	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	40	指導実技の実践演習（バックスクワットの指導）
16	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	41	バックスクワットの指導実技試験
17	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	42	バックスクワットの指導実技試験
18	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	43	指導実技の実践演習（デッドリフトの指導）
19	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	44	指導実技の実践演習（デッドリフトの指導）
20	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅢ）	45	指導実技の実践演習（デッドリフトの指導）
21	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）	46	指導実技の実践演習（デッドリフトの指導）
22	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）	47	デッドリフトの指導実技試験
23	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）	48	デッドリフトの指導実技試験
24	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）	49	科目修得試験，科目修得試験の解説
25	レジスタンスエクササイズのテクニックと指導実技（パターンⅣ）	50	まとめ

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	14
授業科目	トレーニング実技Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太
	実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、心臓血管系マシーンエクササイズ指導に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実技
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	心臓血管系活動を処方する際に考慮すべき実技能力を養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実技練習により、技能の向上を図る
達成目標	心臓血管系活動を処方する際に考慮すべき実技能力を習得する
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1　授業オリエンテーション，安全な参加【講義】 2　心臓血管系マシーンによるトレーニング（トレッドミル），トレッドミルランニングの実践 3　心臓血管系マシーンによるトレーニング（トレッドミル），トレッドミルランニングの実践 4　心臓血管系マシーンによるトレーニング（トレッドミル），トレッドミルランニングの実践 5　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステアクライマー），ステアクライマーの実践 6　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステアクライマー），ステアクライマーの実践 7　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステーショナリーバイク），ステーショナリーバイクの実践 8　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステーショナリーバイク），ステーショナリーバイクの実践 9　その他の心臓血管系マシーンによるトレーニング，マシーンを用いない心臓血管系エクササイズのテクニック 10　その他の心臓血管系マシーンによるトレーニング，マシーンを用いない心臓血管系エクササイズのテクニック 11　心臓血管系マシーンによるトレーニング（トレッドミル），トレッドミルランニングの指導実践 12　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステアクライマー），ステアクライマーの指導実践 13　心臓血管系マシーンによるトレーニング（ステーショナリーバイク），ステーショナリーバイクの指導実践 14　科目修得試験，科目修得試験の解説 15　まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	15
授業科目	トレーニング実技Ⅳ
実務家教員授業	授業担当者：みんなの鍼灸整骨院　パーソナルトレーナー 牧　将太
	実務経験及び授業との関連性：NSCA-CPT資格を有し、パーソナルトレーナー経験がある実務家教員より、その実務経験を活かして、プライオメトリックエクササイズ及びスピードトレーニング指導に関する知識、技術を習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実技
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	プライオメトリクス，スピード・アジリティトレーニングの実技能力を養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実技練習により、技能の向上を図る
達成目標	プライオメトリクス，スピード・アジリティトレーニングの実技能力を習得する
教科書	NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識
特記	
授業計画	1　授業オリエンテーション，プライオメトリックトレーニングの理論とテクニック 2　プライオメトリックトレーニングの実践 3　プライオメトリックトレーニングの指導実技 4　プライオメトリックトレーニングの指導実技 5　プライオメトリックトレーニングの指導実技 6　プライオメトリックトレーニングの指導実技試験 7　プライオメトリックトレーニングの指導実技試験 8　スピードおよびアジリティトレーニングの理論とテクニック 9　スピードおよびアジリティトレーニングの実践 10　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技 11　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技 12　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技 13　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技 14　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技試験 15　スピードおよびアジリティトレーニングの指導実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（実技試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	トレーニング指導実践Ⅰ
実務家教員授業	授業担当者：スポーツクラブ　ルネサンス大分 実務経験及び授業との関連性：スポーツクラブでのエアロビクスインストラクター経験がある実務家教員から、その実務経験を活かして、エアロビクス指導における基礎知識、指導スキルを習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エアロビックダンスの指導スキルを養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	エアロビックダンスの指導スキルを習得する
教科書	健康運動実践指導者養成テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、エアロビックダンスの実際 2 エアロビックダンスの基本動作（ローインパクトムーブ） 3 エアロビックダンスの基本動作（ローインパクトムーブ） 4 エアロビックダンスの基本動作（ハイインパクトムーブ） 5 エアロビックダンスの基本動作（ハイインパクトムーブ） 6 エアロビックダンスの運動強度とプログラム作成の基礎 7 エアロビックダンスの指導実践（キューイング） 8 エアロビックダンスの指導実践（キューイング） 9 エアロビックダンスの指導実践（キューイング） 10 エアロビックダンスの指導実践（キューイング） 11 エアロビックダンスの指導実践（課題運動） 12 エアロビックダンスの指導実践（課題運動） 13 エアロビックダンスの指導実践（課題運動） 14 エアロビックダンスの指導実習試験 15 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	17
授業科目	トレーニング指導実践Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：スポーツクラブ　ルネサンス大分 実務経験及び授業との関連性：スポーツクラブでのフィットネスインストラクター経験がある実務家教員から、その実務経験を活かして、トレーニング指導における基礎知識、指導スキルを習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	各種トレーニングの指導スキルを養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	各種トレーニングの指導スキルを習得する
教科書	健康運動実践指導者養成テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，設備や器具の使用方法，初回面談と評価 2 各種トレーニングプログラムの指導実践 3 各種トレーニングプログラムの指導実践 4 各種トレーニングプログラムの指導実践 5 各種トレーニングプログラムの指導実践 6 各種トレーニングプログラムの指導実践 7 各種トレーニングプログラムの指導実践 8 各種トレーニングプログラムの指導実践 9 各種トレーニングプログラムの指導実践 10 レジスタンストレーニングの指導実習試験 11 有酸素性持久力トレーニングの指導実習試験 12 プライオメトリックトレーニングの指導実習試験 13 スピードトレーニングの指導実習試験 14 サーキットトレーニングの指導実習試験 15 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	18
授業科目	トレーニング指導実践Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：スポーツクラブ　ルネサンス大分 実務経験及び授業との関連性：スポーツクラブでのアクアビクスインストラクター経験がある実務家教員から、その実務経験を活かして、水泳・水中指導における基礎知識、指導スキルを習得することを目的とする。
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	水中運動の指導スキルを養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	水中運動の指導スキルを習得する
教科書	健康運動実践指導者養成テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，設備や器具の使用方法，泳力評価 2 泳法指導（クロール）の実際 3 泳法指導（クロール）の実際 4 泳法指導（クロール）の実際、クロール（25m）のタイム測定 5 泳法（クロール）の指導実践 6 泳法（クロール）の指導実習試験 7 泳法指導（平泳ぎ）の実際 8 泳法指導（平泳ぎ）の実際 9 泳法指導（平泳ぎ）の実際、平泳ぎ（25m）のタイム測定 10 泳法（平泳ぎ）の指導実践 11 泳法（平泳ぎ）の指導実習試験 12 水中ウォーキング・水中レジスタンス運動の実際 13 アクアビクスの実際、アクアビクスの指導実習試験 14 アクアビクスの指導実習試験 15 アクアビクスの指導実習試験
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	19
授業科目	トレーニング理論総合演習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	解剖・生理・バイオメカニクス・栄養・トレーニング・ケア・心理に関する演習
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	体力トレーニング検定3級合格レベルに到達する
教科書	NSCAジャパン認定 体力トレーニング検定3級 問題集
特記	
授業計画	1 解剖生理学・バイオメカニクス①、栄養① 2 トレーニング① 3 ケア①、心理・社会① 4 総合演習① 5 解剖生理学・バイオメカニクス②、栄養② 6 トレーニング② 7 ケア②、心理・社会② 8 総合演習② 9 課題演習（小テスト）、課題演習の解説 10 科目習得試験、まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	20	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己ＰＲ作成①
	5	自己ＰＲ作成②
	6	自己ＰＲ作成③
	7	面接質問項目①
	8	面接質問項目②
	9	面接質問項目③
	10	企業研究①
	11	企業研究②
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	模擬面接試験
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	21	
授業科目	一般教養Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ビジネスで使用される初歩的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	22
授業科目	フィジカルアセスメントⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	関節可動域（ROM）測定方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	関節可動域（ROM）測定方法を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，総論 2 ROM測定の実際 3 頸部の機能解剖学，頸部のROM測定 4 体幹の機能解剖学，体幹のROM測定 5 肩甲帯の機能解剖学，肩甲帯のROM測定 6 肩（肩甲上腕関節）の機能解剖学，肩（肩甲上腕関節）のROM測定 7 肘の機能解剖学，肘のROM測定，前腕の機能解剖学，前腕のROM測定 8 手関節の機能解剖学，手関節のROM測定 9 股関節の機能解剖学，股関節のROM測定 10 膝の機能解剖学，膝のROM測定，足関節の機能解剖学，足関節のROM測定 11 足部の機能解剖学，足部のROM測定 12 ROM測定の総合実習 13 ROM測定の総合実習 14 ROM測定の実習試験 15 科目修得試験，科目修得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	23
授業科目	フィジカルアセスメントⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動機能障害に対応するために、動作パターンの理解と評価方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	運動機能障害に対応するために、適切な動作パターンを理解し、評価できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，動作パターン分析の基礎理論 2 動作パターン分析の実際 3 動作パターン分析の実際 4 動作パターン分析の実際 5 動作パターン分析の実際 6 動作パターン分析の実際 7 動作パターン分析の実際 8 動作パターン分析の実際 9 動作パターン分析の実際 10 動作パターン分析の実際 11 動作パターン分析の実際 12 動作パターン分析の実際 13 動作パターンの評価結果の解釈について，不良動作の原因考察 14 動作パターン分析の実習試験 15 科目修得試験，科目修得試験の解説，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50％・実技試験50％）
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	24	
授業科目	コレクティブエクササイズⅠ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	軟部組織・神経系に関するファンクショナルトレーニングを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	軟部組織・神経系に関するファンクショナルトレーニングを習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション，ファンクショナルトレーニングの基礎理論
	2	ファンクショナルトレーニングの実際
	3	ファンクショナルトレーニングの実際
	4	ファンクショナルトレーニングの実際
	5	ファンクショナルトレーニングの実際
	6	ファンクショナルトレーニングの実際
	7	ファンクショナルトレーニングの実際
	8	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	9	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	10	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	11	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	12	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	13	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	14	ファンクショナルトレーニングの指導実践
	15	ファンクショナルトレーニングの実技試験，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（実技試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	25	
授業科目	トリートメント技能Ⅰ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	マッサージを中心としたトリートメント技能を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	トリートメント技能について、技能を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション、マッサージ概論、スポーツオイルマッサージの実際（腹臥位の背部・腰部，肩部）
	2	スポーツオイルマッサージの実際（腹臥位の下肢・臀部）
	3	スポーツオイルマッサージの実際（仰臥位の腹部，上肢，下腿部）
	4	スポーツオイルマッサージの実際（仰臥位の大腿部，胸部、側臥位）
	5	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	6	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	7	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	8	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	9	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	10	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	11	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	12	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	13	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	14	スポーツオイルマッサージの実践（全身）
	15	スポーツオイルマッサージの実習試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	26
授業科目	テーピング技能
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	テーピングの効果・目的を理解し、効果的なテーピングの技能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	テーピングの効果・目的を理解し、効果的なテーピングの技能を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，テーピングの理論，足部・足関節（基本形）①
	2 足関節（基本形）②
	3 足関節（基本形）③
	4 足関節（基本形）④，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）①
	5 足関節（基本形）⑤，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）②
	6 足関節（基本形）⑥，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）③
	7 足関節（基本形）⑦，肘関節（野球肘，テニス肘）①
	8 足関節（基本形）⑧，肘関節（野球肘、テニス肘）②
	9 足関節（基本形）⑨，肘関節（野球肘，テニス肘）③
	10 足関節（基本形）⑩，肩関節（外転・外旋制限）①
	11 足関節（基本形）⑪，肩関節（外転・外旋制限）②
	12 足関節（基本形）⑫，肩関節（外転・外旋制限）③
	13 足関節（基本形）⑬，キネシオロジーテープ①
	14 足関節（基本形）⑭，キネシオロジーテープ②
	15 テーピング技能の実習試験，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	27
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スポーツに関わる産業分類を業種・職種ごとに学ぶ
授業の進め方	オリジナルテキストによる講義後、ワークシートの作成を行う
達成目標	スポーツ産業の労働力需要に合わせた知識・能力を把握し、職業理解を深める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 スポーツの仕事に関する産業分類 2 広義なスポーツの業種・職種 3 狭義なスポーツの業種・職種 4 ストレングス&コンディショニングトレーナーとは 5 アスレチックトレーナーとは 6 フィットネスインストラクターとは 7 スポーツインストラクターとは 8 メディカルフィットネスとは 9 スポーツ用品を取り扱う業種 10 ワークシート 11 ワークシート 12 ワークシート 13 ワークシート 14 ワークシート 15 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	レポート評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	28
授業科目	Word基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ④ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	29
授業科目	Word応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	30
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算① 12 関数を使用しての条件付き計算② 13 関数を使用しての条件付き計算③ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	31
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	PowerPoint基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	33
授業科目	PowerPoint応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	34
授業科目	販売知識基礎
実務家教員授業	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	販売員の役割①	31	商業集積④
	2	販売員の役割②	32	商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33	商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34	小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35	小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36	小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37	小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38	小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39	小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40	顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41	顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42	顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43	顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44	顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45	顧客満足経営⑥
	16	流通における小売業①		
	17	流通における小売業②		
	18	流通における小売業③		
	19	流通における小売業④		
	20	流通における小売業⑤		
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
	26	店舗形態別小売業②		
	27	店舗形態別小売業③		
	28	商業集積①		
	29	商業集積②		
	30	商業集積③		

成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	35
授業科目	販売知識応用
実務家教員授業	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画

1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
15	ストアオペレーション⑥	45	販売管理③
16	梱包技術①		
17	梱包技術②		
18	梱包技術③		
19	ディスプレイ①		
20	ディスプレイ②		
21	ディスプレイ③		
22	商品①		
23	商品②		
24	商品③		
25	マーチャンダイジング①		
26	マーチャンダイジング②		
27	マーチャンダイジング③		
28	マーチャンダイジング④		
29	マーチャンダイジング⑤		
30	マーチャンダイジング⑥		

成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	36
授業科目	企業等実習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	専門職に関する職業体験を行う
授業の進め方	事前指導とインターンシップ形式の職業体験
達成目標	職業体験を通して、自己の職業適性の理解を深める
教科書	実習日誌・実習報告書
特記	
授業計画	1 事前指導・オリエンテーション 2 就業体験（インターンシップ） 3 就業体験（インターンシップ） 4 就業体験（インターンシップ） 5 就業体験（インターンシップ） 6 就業体験（インターンシップ） 7 就業体験（インターンシップ） 8 就業体験（インターンシップ） 9 就業体験（インターンシップ） 10 就業体験（インターンシップ） 11 就業体験（インターンシップ） 12 就業体験（インターンシップ） 13 就業体験（インターンシップ） 14 就業体験（インターンシップ） 15 就業体験（インターンシップ）
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	37
授業科目	トレーニング理論総合演習Ⅱ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	解剖・生理・バイオメカニクス・栄養・トレーニング・ケア・心理に関する演習
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	体力トレーニング検定2級合格レベルに到達する
教科書	NSCAジャパン認定 体力トレーニング検定2級 問題集
特記	
授業計画	1 解剖生理学・バイオメカニクス①、栄養① 2 トレーニング① 3 ケア①、心理・社会① 4 総合演習① 5 解剖生理学・バイオメカニクス②、栄養② 6 トレーニング② 7 ケア②、心理・社会② 8 総合演習② 9 総合演習③ 10 科目習得試験、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	38	
授業科目	トレーニング理論総合演習Ⅲ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	５０時間	
授業コマ数	２５コマ	
授業概要	クライアントに対する面談と評価の方法を学ぶ	
授業の進め方	問題集による演習と実技形式の反復演習	
達成目標	ストレングス＆コンディショニング分野の知識を習得する	
教科書	NSCA－CPT模擬問題集	
特記		
授業計画	1	クライアントに対する面談と評価
	2	クライアントに対する面談と評価
	3	クライアントに対する面談と評価
	4	エクササイズテクニック
	5	エクササイズテクニック
	6	エクササイズテクニック
	7	エクササイズテクニック
	8	エクササイズテクニック
	9	プログラムプランニング
	10	プログラムプランニング
	11	プログラムプランニング
	12	プログラムプランニング
	13	プログラムプランニング
	14	プログラムプランニング
	15	安全性、緊急時の手順、法的諸問題
	16	安全性、緊急時の手順、法的諸問題
	17	安全性、緊急時の手順、法的諸問題
	18	総合演習
	19	総合演習
	20	総合演習
	21	総合演習
	22	総合演習
	23	総合演習
	24	総合演習
	25	科目修得試験，科目修得試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	39
授業科目	健康づくり施策概論
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	世界・我が国の健康施策について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	世界・我が国の健康施策について説明できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、健康と健康増進の概念① 2 健康と健康増進の概念②、わが国の現状と健康づくり施策① 3 わが国の現状と健康づくり施策② 4 わが国の現状と健康づくり施策③ 5 生活習慣病とメタボリックシンドローム① 6 生活習慣病とメタボリックシンドローム② 7 介護予防について 8 メディカルチェックについて 9 総復習、科目習得試験 10 科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	40	
授業科目	運動生理学	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	運動による生理学的な変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	運動による生理学的な変化を説明できる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション、運動の発現、骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構
	2	筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ、筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋
	3	運動の持続と呼吸循環系
	4	呼吸循環系の機能の指標と調節機構、運動に伴う呼吸循環機能の変化
	5	運動時の酸素利用
	6	運動と血液・体液
	7	成長期における体力・基本的動作スキルの発達
	8	成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因（遺伝）と後天的要因（運動実践の効果）
	9	総復習、科目習得試験
	10	科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	41
授業科目	機能解剖とバイオメカニクス
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	解剖学的知識を基に人体の力学的作用を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	解剖学的知識を基に人体の力学的作用を説明できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、身体活動に関する筋と骨① 2 身体活動に関する筋と骨② 3 単関節・多関節運動 4 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式① 5 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式② 6 着地衝撃とその緩和法 7 投動作と打動作の共通点 8 運動と流体力 9 総復習、科目習得試験 10 科目習得試験解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	42
授業科目	栄養摂取と運動
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素，エネルギー代謝の役割を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	身体活動・運動に対する適切な食事の計画を立案できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、健康と栄養、食物の消化・吸収 2 五大栄養素-炭水化物、たんぱく質 3 五大栄養素-脂質、ビタミン、ミネラル 4 食事評価方法の学習、食事評価の実践演習 5 食物選択のためのガイド、運動時におけるエネルギー源 6 エネルギー消費量の推定法 7 適切な減量計画、適切な減量計画の実践演習 8 日本人の食事摂取基準、生活習慣病と栄養・食生活 9 総復習、科目習得試験 10 科目習得試験解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	43
授業科目	体力測定と評価
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	体力測定の目的と評価方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	体力測定を正しく実施，評価・分析できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、無酸素性能力の測定 2 有酸素性能力の測定 3 最大酸素摂取量の測定 4 無酸素性閾値 5 体脂肪量の測定 6 健康づくりのための運動指針２００６（エクササイズガイド２００６） 7 新体力テスト① 8 新体力テスト② 9 体力テストの評価 10 新体力テスト測定・評価 11 新体力テスト測定・評価練習① 12 新体力テスト測定・評価練習② 13 新体力テスト測定・評価試験 14 総復習、科目習得試験 15 科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	44	
授業科目	健康づくりと運動プログラム	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	身体活動・運動の生活習慣病に対する効果を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	運動指導者として、安全で効果的な運動プログラムを作成できる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション、健康づくりのための身体活動基準2013、健康づくりのための身体活動指針（アクティブガイド）
	2	健康づくりのためのトレーニングの原則、健康づくりのための運動プログラム作成上のポイント
	3	健康づくりと運動プログラム作成の基礎
	4	ウォームアップとクールダウン
	5	有酸素性運動とその効果
	6	レジスタンス運動
	7	運動プログラム作成①
	8	運動プログラム作成②
	9	総復習、科目習得試験
	10	科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	45
授業科目	運動指導の心理学的基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	運動実践に関わる社会・心理・環境要因を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	運動実践にる心理社会的効果の内容を理解し、効果を高める方法を説明できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデルおよび技法① 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデルおよび技法② 5 募集にさいして要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 指導と受講のミスマッチと解決法 7 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法 8 動機づけ面接 9 総復習、科目習得試験 10 科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	46	
授業科目	健康づくり運動の実際	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	４０時間	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	運動プログラムを構成、実演、指導できる能力を養成する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	運動プログラムを安全かつ効果的に構成、実演、指導できる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション、健康運動実践指導者とは
	2	ウォームアップとクールダウンとは、ウォームアップの目的、ウォームアップの効果、ウォームアップの実際、ウォームアップ実施上の注意
	3	クールダウンの目的、クールダウンの効果
	4	クールダウンの実際、クールダウンの実施上の注意
	5	ストレッチングとは、ストレッチングの種類とその特性、ストレッチングの目的、ストレッチングの効果
	6	ストレッチングの実際、ストレッチングの実施上のポイントと注意点
	7	ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性
	8	ウォーキングとジョギングによる運動効果、ウォーキングの時間と頻度
	9	ウォーキングのジョギングの速度とエネルギー消費量
	10	ウォーキングの基本的なフォーム、ウォーキングとジョギング実施における安全上の注意点
	11	ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法、ウォーキングとジョギングのプログラム
	12	エアロビックダンスとは、エアロビックダンスの特性、エアロビックダンスの効果、エアロビックダンスの運動強度
	13	エアロビックダンスの実際、安全に対する注意、指導者の役割
	14	水泳・水中運動とは、水泳・水中運動の特性、水泳・水中運動の効果
	15	健康のための水泳・水中運動の実際、安全に対する注意
	16	健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動（レジスタンストレーニング）の分類、アイソトニックトレーニングの実際
	17	アイソメトリックトレーニングの実際、自重や身近な用具を使ったトレーニングの実際、サーキットトレーニング
	18	総復習
	19	科目習得試験、科目習得試験の解説
	20	まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	47
授業科目	運動障害と予防・救急処置
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	運動中に発生しうる救急疾病や外科的損傷を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	運動中・後の疾病や外科的損傷の発生時の対応や予防できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、運動中止の判定 2 内科的な急性障害 3 内科的な慢性障害 4 突然死 5 救急処置① 6 救急処置② 7 整形外科的障害と外科的救急処置① 8 整形外科的障害と外科的救急処置②、テーピングの技術 9 総復習、科目習得試験 10 科目習得試験の解説、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	48
授業科目	実践数的Ｉ　数的推理
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　方程式（不等式、過不足算、平均算、年齢算） 2　整数・計算パズル（約数と倍数） 3　整数・計算パズル（割り算の余り～覆面算） 4　整数・計算パズル（ｎ進法）、割合と比（割合） 5　割合と比（比） 6　割合と比（売買算） 7　割合と比（濃度） 8　速さ（速さ） 9　速さ（旅人算） 10　速さ（通過算、流水算、時計算） 11　仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算） 12　場合の数（場合の数、順列） 13　場合の数（順列、組合せ） 14　場合の数（道順）、確率（事象と確率、赤玉白玉、くじ引き） 15　確率（赤玉白玉、くじ引き、サイコロ・コイン）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　10題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義１コマを行います。

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	49
授業科目	実践数的Ⅱ　判断推理
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　論理（対偶、三段論法、確定条件、複合命題の分割、論理と集合） 2　集合の要素の個数（２つのベン図、３つのベン図、キャロル図） 3　順序の決定（パズル化、確定条件、男女の区別、順序と対応、折り返し） 4　順序の変動、順序の数値条件 5　順序の数値条件、対応（対応表、確定条件） 6　対応（やりとり）、対応の数値条件、スケジュール 7　位置と方位（位置、議長席） 8　位置と方位（円卓、道をへだてて、方位） 9　勝ち負け、カード・ゲーム、ウソの発言 10　推理・手順、暗号
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　10題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	50
授業科目	実践数的Ⅲ　空間把握・資料解釈
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　折り紙、回転の軌跡 2　正多面体、展開図 3　平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木 4　積木、立体の切断、回転体 5　一筆書き、平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 6　平面図形の計量（三平方の定理、相似比、中点連結定理） 7　平面図形の計量（底辺分割定理、相似比と面積比） 8　平面図形の計量（角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ） 9　平面図形の計量（内接円、円弧の長さ）、資料解釈（実数・割合） 10　平面図形の計量（扇形の面積）、資料解釈（構成比） 11　立体図形の計量（立体の体積、回転体の体積）、資料解釈（指数） 12　立体図形の計量（断面積、表面積、体積比）、資料解釈（増加率）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　10題の基礎的な解答力を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	51
授業科目	実践社会科学Ⅰ　政治
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　政治の基本理念、国家論 2　政治制度論 3　基本的人権総論、包括的基本権 4　自由権 5　社会権 6　国会の機構と運営 7　内閣の機構と運営 8　裁判所の機構と運営 9　地方自治 10　選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　○×50題の基本的な知識を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	52
授業科目	実践社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得、経済成長と景気循環 4 通貨制度と金融政策 5 財政制度と財政政策 6 日本経済の動向 7 貿易と外国為替 8 国際経済の動向 9 社会理論、労働問題 10 社会保障 11 環境問題 12 国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　○×50題の基本的な知識を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	53
授業科目	実践演習Ⅰ　数的処理
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 方程式・不等式・整数・計算パズル 2 割合と比 3 速さ・仕事算 4 場合の数・確率 5 論理・集合と要素の個数 6 順序・対応 7 位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言 8 推理・手順・暗号・家系図 9 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成 10 サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き 11 平面図形の計量 12 立体図形の計量・資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	54
授業科目	実践演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権① 3 基本的人権② 4 国会の機構と運営 5 内閣の機構と運営 6 裁判所の機構と運営 7 地方自治、選挙制度 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合① 14 社会総合②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　100問の知識習得状況を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	55
授業科目	実践数的Ⅳ　数的総合
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　方程式（方程式） 2　方程式（不等式）（過不足算） 3　方程式（平均算）（年齢算） 4　整数・計算パズル（約数と倍数） 5　整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質、カレンダー） 6　整数・計算パズル（数列、魔方陣） 7　整数・計算パズル（虫食算、覆面算、ｎ進法） 8　割合と比（割合） 9　割合と比（比） 10　割合と比（売買算） 11　割合と比（濃度） 12　速さ（速さ） 13　速さ（旅人算、通過算） 14　速さ（流水算、時計算） 15　仕事算（仕事算） 16　仕事算（給排水算、ニュートン算） 17　場合の数（場合の数、順列） 18　場合の数（組合せ、道順） 19　確率（事象と確率、赤玉白玉） 20　確率（赤玉白玉、くじ引き、サイコロ、コイン）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	56	
授業科目	トレーニング指導実践Ⅳ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	エアロビックダンスの特性・効果、指導者の役割について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	エアロビックダンスのプログラム作成や指導方法を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション、エアロビックダンスとは、エアロビックダンスの特性、エアロビックダンスの効果
	2	エアロビックダンスの運動強度、エアロビックダンスの実際、指導者の役割（A）
	3	エアロビックダンスの実際-様々なステップの習得、強度変化について
	4	課題運動のプログラム作成①（A・Bパートの作成）
	5	課題運動のプログラム作成②（C・Dパートの作成）
	6	課題運動のプログラム作成③（Eパートの作成）、課題運動の練習①
	7	課題運動の練習②
	8	指導者の役割（B,C）
	9	総復習、科目習得試験
	10	科目習得試験の解説
	11	課題運動の指導実践①（A・Bパートのキューイング）
	12	課題運動の指導実践②（A・Bパートのキューイング）
	13	課題運動の指導実践③（C・Dパートのキューイング）
	14	課題運動の指導実践④（C・Dパートのキューイング）
	15	課題運動の指導実践⑤（Eパートのキューイング、全パートのキューイング）
	16	課題運動の指導実践⑥（全パートのキューイング）
	17	課題運動の指導実践⑦（全パートのキューイング）
	18	課題運動の指導実践⑧-2人1組（キューイング）
	19	課題運動の指導実践⑨-2人1組（キューイング）
	20	課題運動の指導実践⑩-2人1組（キューイング）
	21	課題運動の指導実践⑪-2人1組（キューイング、注意点の指示）
	22	課題運動の指導実践⑫-2人1組（キューイング、注意点の指示）
	23	課題運動の指導実践⑬-2人1組（キューイング、注意点の指示、賞賛）
	24	課題運動の指導実践⑭-2人1組（キューイング、注意点の指示、賞賛）
	25	課題運動の指導実践⑮-集団に対する指導実践（説明、課題運動）、フィードバック（１）
	26	課題運動の指導実践⑯-集団に対する指導実践（説明、課題運動）、フィードバック（２）
	27	課題運動の指導実践⑰-集団に対する指導実践（説明、課題運動）、フィードバック（３）
	28	課題運動の指導実践⑱-集団に対する指導実践（説明、課題運動）、フィードバック（４）
	29	科目習得試験（実習試験）
	30	科目習得試験フィードバック、総括
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	57
授業科目	トレーニング指導実践Ⅴ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	介護予防運動に関する指導力を養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	介護予防運動を完全かつ効果的に指導できる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション、介護予防と運動 2 高齢者における運動指導の実際（自立機能の評価，運動時の姿勢の確認，ウォーキング） 3 高齢者における運動指導の実際（レジスタンス運動） 4 高齢者における運動指導の実際（ストレッチング） 5 高齢者における運動指導の実際（タオル、ボール、チューブなどを使った運動） 6 高齢者における運動指導の実際（ボディワークとリズム体操） 7 高齢者における運動指導のプログラム作成 8 高齢者における運動指導の指導実践 9 高齢者における運動指導のプログラム作成 10 高齢者における運動指導の指導実践 11 高齢者における運動指導のプログラム作成 12 高齢者における運動指導の指導実践 13 高齢者における運動指導のプログラム作成 14 高齢者における運動指導の指導実践 15 高齢者における運動指導のプログラム作成 16 高齢者における運動指導の指導実践 17 高齢者における運動指導のプログラム作成 18 高齢者における運動指導の指導実践 19 高齢者における運動指導のプログラム作成 20 高齢者における運動指導の指導実践 21 高齢者における運動指導のプログラム作成 22 高齢者における運動指導の指導実践 23 高齢者における運動指導のプログラム作成 24 高齢者における運動指導の指導実践 25 高齢者における運動指導のプログラム作成 26 高齢者における運動指導の指導実践 27 高齢者における運動指導のプログラム作成 28 高齢者における運動指導の指導実践 29 高齢者における運動指導の実習試験 30 高齢者における運動指導の実習試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	58
授業科目	トレーニング指導実践Ⅵ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	水中運動に関する指導技術を養成する
授業の進め方	動作と指導練習により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	水中運動における集団指導を目的としたプログラム作成と指導が行える
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 グループエクササイズ体験 2 ローインパクト①動作練習プログラミング 3 ローインパクト②プログラミング指導練習 4 ローインパクト③指導練習 5 ローインパクト④指導練習 6 ハイインパクト①プログラミング指導練習 7 ハイインパクト②指導練習 8 ハイインパクト③指導練習 9 ローインパクト～ハイインパクト① 10 ローインパクト～ハイインパクト② 11 筋コンディショニング・ストレッチ 12 ウォーミングアップ① 13 ウォーミングアップ② 14 ウォーミングアップ③ダウン～ストレッチ 15 運動指導の実習試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	59
授業科目	トレーニング指導実践Ⅶ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	健康運動実践指導者として、プログラムの構成・実演・指導できる能力を養成する
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	健康運動実践指導者実技試験に合格できるレベルに達する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，課題運動について 2 課題運動の指導実践 3 課題運動の指導実践 4 課題運動の指導実践 5 課題運動の指導実践 6 課題運動の指導実践 7 課題運動の指導実践 8 課題運動の指導実践 9 課題運動の指導実践 10 課題運動の指導実践 11 課題運動の指導実践 12 課題運動の指導実践 13 課題運動の指導実践 14 課題運動の指導実践 15 課題運動の指導実践 16 課題運動の指導実践 17 課題運動の指導実践 18 課題運動の指導実践 19 課題運動の指導実践 20 課題運動の実習評価
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	60
授業科目	トレーニング理論総合演習Ⅳ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	健康運動実践指導者試験筆記試験９領域の演習を行う
授業の進め方	問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格レベルに達する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，健康づくり施策概論 2 運動生理学 3 機能解剖とバイオメカニクス 4 栄養摂取と運動 5 体力測定と評価 6 健康づくりと運動プログラム 7 運動指導の心理学的基礎 8 健康づくり運動の実際 9 運動障害と予防・救急処置 10 総合演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 総合演習 15 総合演習 16 総合演習 17 総合演習 18 総合演習 19 総合演習 20 総合演習 21 総合演習 22 総合演習 23 総合演習 24 総合演習 25 総合演習 26 総合演習 27 総合演習 28 総合演習 29 総合演習 30 科目修得試験，科目修得試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験）100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	61	
授業科目	企業等実習Ⅱ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	専門職に関する職業体験を行い、職業倫理感を高める	
授業の進め方	事前指導とインターンシップ形式の職業体験	
達成目標	職業体験を通して、専門職としての基礎的・汎用的能力を身に付ける	
教科書	実習日誌・実習報告書	
特記		
授業計画	1	事前指導・オリエンテーション
	2	就業体験（インターンシップ）
	3	就業体験（インターンシップ）
	4	就業体験（インターンシップ）
	5	就業体験（インターンシップ）
	6	就業体験（インターンシップ）
	7	就業体験（インターンシップ）
	8	就業体験（インターンシップ）
	9	就業体験（インターンシップ）
	10	就業体験（インターンシップ）
	11	就業体験（インターンシップ）
	12	就業体験（インターンシップ）
	13	就業体験（インターンシップ）
	14	就業体験（インターンシップ）
	15	就業体験（インターンシップ）
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	62
授業科目	コーチング理論・実習
実務家教員授業	ー
	ー
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	コーチングを行っていく上で必要となる知識・スキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	コーチングマップを作成し、各コーチングドリルを立案・実施できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	授業オリエンテーション，コーチング理論	31	トレーニングドリルその３の予行演習
2	コーチングマップの作成	32	トレーニングドリルその３の改善案の作成
3	コーチングマップの作成	33	トレーニングドリルその３の予行演習
4	コーチングマップの作成	34	トレーニングドリルその３の予行演習
5	トレーニングドリルその１の作成	35	トレーニングドリルその３の改善案の作成
6	トレーニングドリルその１の作成	36	トレーニングドリルその３の予行演習
7	トレーニングドリルその１の予行演習	37	トレーニングドリルその３の指導実践
8	トレーニングドリルその１の改善案の作成	38	トレーニングドリルその３の指導実践
9	トレーニングドリルその１の予行演習	39	トレーニングドリルその３の指導実践
10	トレーニングドリルその１の予行演習	40	トレーニングドリルその３の振り返り
11	トレーニングドリルその１の指導実践	41	トレーニングドリルその３の修正案の作成
12	トレーニングドリルその１の指導実践	42	トレーニングドリルその４の作成
13	トレーニングドリルその１の指導実践	43	トレーニングドリルその４の作成
14	トレーニングドリルその１の振り返り	44	トレーニングドリルその４の予行演習
15	トレーニングドリルその１の修正案の作成	45	トレーニングドリルその４の改善案の作成
16	トレーニングドリルその２の作成	46	トレーニングドリルその４の予行演習
17	トレーニングドリルその２の作成	47	トレーニングドリルその４の予行演習
18	トレーニングドリルその２の予行演習	48	トレーニングドリルその４の実習試験
19	トレーニングドリルその２の改善案の作成	49	トレーニングドリルその４の実習試験
20	トレーニングドリルその２の予行演習	50	トレーニングドリルその４の実習試験
21	トレーニングドリルその２の予行演習		
22	トレーニングドリルその２の改善案の作成		
23	トレーニングドリルその２の予行演習		
24	トレーニングドリルその２の指導実践		
25	トレーニングドリルその２の指導実践		
26	トレーニングドリルその２の指導実践		
27	トレーニングドリルその２の振り返り		
28	トレーニングドリルその２の修正案の作成		
29	トレーニングドリルその３の作成		
30	トレーニングドリルその３の作成		

成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	63
授業科目	テーピング技能
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	テーピングの効果・目的を理解し、効果的なテーピングの技能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	テーピングの効果・目的を理解し、効果的なテーピングの技能を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 授業オリエンテーション，テーピングの理論，足部・足関節（基本形）①
	2 足関節（基本形）②
	3 足関節（基本形）③
	4 足関節（基本形）④，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）①
	5 足関節（基本形）⑤，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）②
	6 足関節（基本形）⑥，膝関節（内側側副靭帯，前十字靭帯）③
	7 足関節（基本形）⑦，肘関節（野球肘，テニス肘）①
	8 足関節（基本形）⑧，肘関節（野球肘、テニス肘）②
	9 足関節（基本形）⑨，肘関節（野球肘，テニス肘）③
	10 足関節（基本形）⑩，肩関節（外転・外旋制限）①
	11 足関節（基本形）⑪，肩関節（外転・外旋制限）②
	12 足関節（基本形）⑫，肩関節（外転・外旋制限）③
	13 足関節（基本形）⑬，キネシオロジーテープ①
	14 足関節（基本形）⑭，キネシオロジーテープ②
	15 テーピング技能の実習試験，まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	64	
授業科目	トリートメント技能Ⅱ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	徒手療法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	基礎的な徒手療法の施術方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション、徒手療法―胸郭
	2	徒手療法―胸郭
	3	徒手療法―胸郭
	4	徒手療法―胸郭
	5	科目習得試験―胸郭（筆記試験、実技試験）
	6	徒手療法―股関節・体幹部
	7	徒手療法―股関節・体幹部
	8	徒手療法―股関節・体幹部
	9	徒手療法―股関節・体幹部
	10	科目習得試験―股関節・体幹部（筆記試験、実技試験）
	11	徒手療法―上肢・下肢
	12	徒手療法―上肢・下肢
	13	徒手療法―上肢・下肢
	14	徒手療法―上肢・下肢
	15	科目習得試験―上肢・下肢（筆記試験、実技試験）、まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験（筆記試験50%、実技試験50%）	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	65	
授業科目	コレクティブエクササイズⅡ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	動作改善トレーニングについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	動作改善トレーニングを選択・実施できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	授業オリエンテーション
	2	骨盤帯・体幹のアプローチ
	3	骨盤帯・体幹のアプローチ
	4	骨盤帯・体幹のアプローチ
	5	骨盤帯・体幹のアプローチ
	6	科目習得試験(骨盤帯・体幹)、肩・肩甲帯のアプローチ
	7	肩・肩甲帯のアプローチ
	8	肩・肩甲帯のアプローチ
	9	肩・肩甲帯のアプローチ
	10	科目習得試験(肩・肩甲帯)、上肢・下肢のアプローチ
	11	上肢・下肢のアプローチ
	12	上肢・下肢のアプローチ
	13	上肢・下肢のアプローチ
	14	上肢・下肢のアプローチ
	15	科目習得試験(上肢・下肢)・総括
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験（実技試験100%）	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	66
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2 業界研究 3 企業研究① 4 企業研究② 5 志望動機の作り方① 6 志望動機の作り方② 7 志望動機の作り方③ 8 志望動機の作り方④ 9 志望動機の作り方⑤ 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習① 14 内定後学習② 15 内定後学習③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	67
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	68
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門職のキャリア形成について学ぶ
授業の進め方	グループワーク・ディベート・ディスカッション
達成目標	専門分野のキャリア形成について、自身の志向性を高める
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ホームルーム活動 2 ホームルーム活動 3 ホームルーム活動 4 ホームルーム活動 5 ホームルーム活動 6 ホームルーム活動 7 ホームルーム活動 8 ホームルーム活動 9 ホームルーム活動 10 ホームルーム活動 11 ホームルーム活動 12 ホームルーム活動 13 ホームルーム活動 14 ホームルーム活動 15 ホームルーム活動 16 ホームルーム活動 17 ホームルーム活動 18 ホームルーム活動 19 ホームルーム活動 20 ホームルーム活動 21 ホームルーム活動 22 ホームルーム活動 23 ホームルーム活動 24 ホームルーム活動 25 ホームルーム活動 26 ホームルーム活動 27 ホームルーム活動 28 ホームルーム活動 29 ホームルーム活動 30 ホームルーム活動
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	69
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	中高年者向けの健康増進を目的とした運動指導を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	中高年者向けの健康増進を目的とした運動指導が安全かつ効果的に実施できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 中高年のトレーナビリティについて 2 中高年向けのエクササイズの実際 3 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズのプログラム立案 4 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 5 プログラムの振り返りと修正案の立案 6 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 7 健康教室の開催 8 健康教室の開催 9 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズのプログラム立案 10 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 11 プログラムの振り返りと修正案の立案 12 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 13 健康教室の開催 14 健康教室の開催 15 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズのプログラム立案 16 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 17 プログラムの振り返りと修正案の立案 18 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 19 健康教室の開催 20 健康教室の開催 21 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズのプログラム立案 22 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 23 プログラムの振り返りと修正案の立案 24 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 25 健康教室の開催 26 健康教室の開催 27 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズのプログラム立案 28 ロコモティブシンドロームの予防エクササイズの指導実践 29 健康教室の開催 30 健康教室の開催
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	70
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	子ども向けの運動指導を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る
達成目標	発育発達段階に応じた運動指導が安全かつ効果的に実施できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 子どもの発育発達段階の理解 2 コーディネーショントレーニングの実際 3 コーディネーショントレーニングの実際 4 コーディネーショントレーニングプログラムの立案 5 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 6 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 7 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 8 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 9 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 10 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 11 プログラムの振り返りと修正案の立案 12 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 13 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 14 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 15 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 16 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 17 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 18 プログラムの振り返りと修正案の立案 19 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 20 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 21 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 22 コーディネーショントレーニングプログラムの準備 23 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 24 コーディネーショントレーニングプログラムの予行演習 25 運動教室のリハーサル 26 運動教室のリハーサル 27 運動教室の開催 28 運動教室の開催 29 運動教室の開催 30 実習の振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	71	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅤ	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	４０時間	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	ストレングス＆コンディショニングトレーナー、アスレチックトレーナー活動を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実習により、技能の向上を図る	
達成目標	トレーナーとして競技スポーツ選手のサポートができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スポーツチームの試合や練習への帯同
	2	スポーツチームの試合や練習への帯同
	3	スポーツチームの試合や練習への帯同
	4	スポーツチームの試合や練習への帯同
	5	スポーツチームの試合や練習への帯同
	6	スポーツチームの試合や練習への帯同
	7	スポーツチームの試合や練習への帯同
	8	スポーツチームの試合や練習への帯同
	9	スポーツチームの試合や練習への帯同
	10	スポーツチームの試合や練習への帯同
	11	スポーツチームの試合や練習への帯同
	12	スポーツチームの試合や練習への帯同
	13	スポーツチームの試合や練習への帯同
	14	スポーツチームの試合や練習への帯同
	15	スポーツチームの試合や練習への帯同
	16	スポーツチームの試合や練習への帯同
	17	スポーツチームの試合や練習への帯同
	18	スポーツチームの試合や練習への帯同
	19	スポーツチームの試合や練習への帯同
	20	スポーツチームの試合や練習への帯同
成績評価方法 （試験実施方法）	実習評価100％	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	72
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員授業	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	顧客満足①	31	アンケート調査分析②
	2	顧客満足②	32	企画作成①
	3	マーケティングの必要性①	33	企画作成②
	4	マーケティングの必要性②	34	企画作成③
	5	情報収集と分析①	35	企画作成④
	6	情報収集と分析②	36	様々なマーケティング①
	7	流通チャネル①	37	様々なマーケティング②
	8	流通チャネル②	38	プレ卒業研究①
	9	プロモーション①	39	プレ卒業研究②
	10	プロモーション②	40	プレ卒業研究③
	11	財務知識①	41	プレ卒業研究④
	12	財務知識②	42	プレ卒業研究⑤
	13	事例研究①	43	プレ卒業研究⑥
	14	事例研究②	44	プレ卒業研究⑦
	15	事例研究③	45	プレ卒業研究⑧
	16	店舗データの理解①		
	17	店舗データの理解②		
	18	マーケティングの流れ①		
	19	マーケティングの流れ②		
	20	売上構成分析①		
	21	売上構成分析②		
	22	来店客分析①		
	23	来店客分析②		
	24	商品分析①		
	25	商品分析②		
	26	費用分析①		
	27	費用分析②		
	28	課題抽出①		
	29	課題抽出②		
	30	アンケート調査分析①		

成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	73
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（１）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（１）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（１）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（１）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	74
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	75
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員授業	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	接客に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	

授業計画				
	1	接客販売、営業マナーとは①	31	商品説明①
	2	接客販売、営業マナーとは②	32	商品説明②
	3	接客販売、営業マナーとは③	33	商品説明③
	4	接客販売の心得①	34	商品説明④
	5	接客販売の心得②	35	商品説明⑤
	6	接客販売の心得③	36	演習①
	7	お客様の心理①	37	演習②
	8	お客様の心理②	38	演習③
	9	お客様の心理③	39	演習④
	10	店内接客の基本①	40	総合演習①
	11	店内接客の基本②	41	総合演習②
	12	店内接客の基本③	42	総合演習③
	13	演習①	43	効果測定①
	14	演習②	44	効果測定②
	15	演習③	45	効果測定③
	16	営業の心得①		
	17	営業の心得②		
	18	営業の心得③		
	19	営業の心得④		
	20	訪問の流れ①		
	21	訪問の流れ②		
	22	訪問の流れ③		
	23	訪問の流れ④		
	24	演習①		
	25	演習②		
	26	演習③		
	27	商談の進め方①		
	28	商談の進め方②		
	29	商談の進め方③		
	30	商談の進め方④		

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	76
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	77	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業	―	
	―	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	６０時間	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章内の移動①
	4	文章内の移動②
	5	文章の書式設定①
	6	文章の書式設定②
	7	文章の書式設定③
	8	文章の書式設定④
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ③
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ④
	13	文章の印刷、保存①
	14	文章の印刷、保存②
	15	文章の印刷、保存③
	16	文章の印刷、保存④
	17	文字列・段落の挿入①
	18	文字列・段落の挿入②
	19	文字列・段落の挿入③
	20	文字列・段落の挿入④
	21	文字列・段落の書式設定①
	22	文字列・段落の書式設定②
	23	文字列・段落の書式設定③
	24	文字列・段落の書式設定④
	25	文字列・段落の書式設定⑤
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化④
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	78
授業科目	Word応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	79
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算① 12 関数を使用しての条件付き計算② 13 関数を使用しての条件付き計算③ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	80
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	81
授業科目	PowerPoint基礎
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	82
授業科目	PowerPoint応用
実務家教員授業	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
科目番号	83			
授業科目	直前答案練習Ⅰ			
実務家教員	–			
	–			
学部・学科	スポーツ学科			
履修年次	２年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	１８０時間			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験１	46	国家公務員タイプの模擬試験16
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	国家公務員タイプの模擬試験２	49	国家公務員タイプの模擬試験17
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	国家公務員タイプの模擬試験３	52	国家公務員タイプの模擬試験18
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	国家公務員タイプの模擬試験４	55	国家公務員タイプの模擬試験19
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	国家公務員タイプの模擬試験５	58	国家公務員タイプの模擬試験20
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	国家公務員タイプの模擬試験６	61	国家公務員タイプの模擬試験21
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	国家公務員タイプの模擬試験７	64	国家公務員タイプの模擬試験22
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	国家公務員タイプの模擬試験８	67	国家公務員タイプの模擬試験23
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	国家公務員タイプの模擬試験９	70	国家公務員タイプの模擬試験24
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	国家公務員タイプの模擬試験10	73	国家公務員タイプの模擬試験25
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	31	国家公務員タイプの模擬試験11	76	国家公務員タイプの模擬試験26
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	77	模擬試験の解説（知能系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	78	模擬試験の解説（知識系科目）
	34	国家公務員タイプの模擬試験12	79	国家公務員タイプの模擬試験27
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	80	模擬試験の解説（知能系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）	81	模擬試験の解説（知識系科目）
	37	国家公務員タイプの模擬試験13	82	国家公務員タイプの模擬試験28
	38	模擬試験の解説（知能系科目）	83	模擬試験の解説（知能系科目）
	39	模擬試験の解説（知識系科目）	84	模擬試験の解説（知識系科目）
	40	国家公務員タイプの模擬試験14	85	国家公務員タイプの模擬試験29
	41	模擬試験の解説（知能系科目）	86	模擬試験の解説（知能系科目）
	42	模擬試験の解説（知識系科目）	87	模擬試験の解説（知識系科目）
	43	国家公務員タイプの模擬試験15	88	国家公務員タイプの模擬試験30
	44	模擬試験の解説（知能系科目）	89	模擬試験の解説（知能系科目）
	45	模擬試験の解説（知識系科目）	90	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価			
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	84
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１０２時間
授業コマ数	５１コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	

授業計画

1	地方公務員タイプの模擬試験１	31	地方公務員タイプの模擬試験11
2	模擬試験の解説（知能系科目）	32	模擬試験の解説（知能系科目）
3	模擬試験の解説（知識系科目）	33	模擬試験の解説（知識系科目）
4	地方公務員タイプの模擬試験２	34	地方公務員タイプの模擬試験12
5	模擬試験の解説（知能系科目）	35	模擬試験の解説（知能系科目）
6	模擬試験の解説（知識系科目）	36	模擬試験の解説（知識系科目）
7	地方公務員タイプの模擬試験３	37	地方公務員タイプの模擬試験13
8	模擬試験の解説（知能系科目）	38	模擬試験の解説（知能系科目）
9	模擬試験の解説（知識系科目）	39	模擬試験の解説（知識系科目）
10	地方公務員タイプの模擬試験４	40	地方公務員タイプの模擬試験14
11	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
12	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
13	地方公務員タイプの模擬試験５	43	地方公務員タイプの模擬試験15
14	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
15	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
16	地方公務員タイプの模擬試験６	46	地方公務員タイプの模擬試験16
17	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
18	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
19	地方公務員タイプの模擬試験７	49	地方公務員タイプの模擬試験17
20	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
21	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
22	地方公務員タイプの模擬試験８		
23	模擬試験の解説（知能系科目）		
24	模擬試験の解説（知識系科目）		
25	地方公務員タイプの模擬試験９		
26	模擬試験の解説（知能系科目）		
27	模擬試験の解説（知識系科目）		
28	地方公務員タイプの模擬試験10		
29	模擬試験の解説（知能系科目）		
30	模擬試験の解説（知識系科目）		

成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	85
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野１） 2 時事（政治分野２） 3 時事（政治分野３） 4 時事（経済分野１） 5 時事（経済分野２） 6 時事（文化１） 7 時事（文化２） 8 時事（文化３） 9 時事（科学１） 10 時事（科学２） 11 時事（科学３） 12 時事（科学４） 13 時事（科学５） 14 時事（国際問題１） 15 時事（国際問題２）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	86
授業科目	一般教養Ｉ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定２級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名１ 2 訓読み・送り仮名２ 3 熟語１ 4 熟語２ 5 熟語３ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正１ 8 誤字訂正２、類義語 9 反対語 10 漢字の意味・使い方１ 11 漢字の意味・使い方２ 12 項目別模擬試験１ 13 項目別模擬試験２ 14 直前模擬試験１ 15 直前模擬試験２
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
科目番号	87	
授業科目	公務員適性検査演習Ｉ	
実務家教員	–	
	–	
学部・学科	スポーツ学科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン１の解答方法
	2	適性試験パターン１の練習
	3	適性試験パターン２の解答方法
	4	適性試験パターン２の練習
	5	適性試験パターン３の解答方法
	6	適性試験パターン３の練習
	7	適性試験練習１
	8	適性試験練習２
	9	適性試験練習３
	10	適性試験練習４
	11	適性試験練習５
	12	適性試験練習６
	13	適性試験練習７
	14	適性試験練習８
	15	適性試験練習９
	16	適性試験練習１０
	17	適性試験練習１１
	18	適性試験練習１２
	19	適性試験練習１３
	20	適性試験練習１４
	21	模擬試験（適性試験）１
	22	模擬試験（適性試験）２
	23	模擬試験（適性試験）３
	24	模擬試験（適性試験）４
	25	模擬試験（適性試験）５
	26	模擬試験（適性試験）６
	27	模擬試験（適性試験）７
	28	模擬試験（適性試験）８
	29	模擬試験（適性試験）９
	30	模擬試験（適性試験）１０
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	88
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向 3 基本テーマによる作文 4 添削および返却答案の修正 5 模範作文の研究 6 作文練習１ 7 作文練習２ 8 作文練習３ 9 作文練習４ 10 作文練習５ 11 作文練習６ 12 作文練習７ 13 作文練習８ 14 作文練習９ 15 作文練習１０
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、提出した作文の完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	89
授業科目	実践人文科学Ⅰ　地理
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　○×50題の基本的な知識を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	90
授業科目	実践人文科学Ⅱ　歴史
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史１（殷～漢） 12 中国史２（魏晋南北朝～隋、唐） 13 中国史３（宋、元） 14 中国史４（明、清） 15 中国史５（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　○×50題の基本的な知識を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	91
授業科目	実践自然科学Ⅰ　生物・地学
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応 7 生物の集団、生物の進化と系統 8 地球の姿と動く大地 9 地震 10 岩石 11 大気と海洋 12 気象現象、日本の四季 13 太陽系と宇宙の構造 14 太陽系と惑星、恒星の世界、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	92
授業科目	実践言語Ⅰ　文理・国語
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語 2 要旨把握、四字熟語 3 内容合致、ことわざ 4 内容合致、ことわざ 5 文章整除、文法基礎 6 文章整除、文法基礎 7 文章の穴埋め、敬語 8 文章の穴埋め、敬語
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	93
授業科目	実践演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	地理・歴史の実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 平安時代 2 鎌倉時代～室町時代 3 江戸時代（前半） 4 江戸時代（後半） 5 明治維新 6 大正、昭和 7 世界の地形 8 世界の気候 9 世界の農業 10 世界の資源・工業 11 日本地誌 12 世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　100問の知識習得状況を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	94
授業科目	実践演習Ⅳ　自然科学
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 生体の構造、生体内の代謝 2 生殖と発生、遺伝と変異 3 刺激の受容と反応 4 内部環境の恒常性と調整 5 生物の集団、生物の進化と系統 6 地球の姿と動く大地・岩石 7 大気と海洋、太陽系と宇宙の構造 8 地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　100問の知識習得状況を測定する試験
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	95
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 地方公務員タイプの模擬試験１ 2 模擬試験の解説（知能系科目） 3 模擬試験の解説（知識系科目） 4 地方公務員タイプの模擬試験２ 5 模擬試験の解説（知能系科目） 6 模擬試験の解説（知識系科目） 7 地方公務員タイプの模擬試験３ 8 模擬試験の解説（知能系科目） 9 模擬試験の解説（知識系科目） 10 地方公務員タイプの模擬試験４ 11 模擬試験の解説（知能系科目） 12 模擬試験の解説（知識系科目） 13 地方公務員タイプの模擬試験５ 14 模擬試験の解説（知能系科目） 15 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	96
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビジネスマナーや所作を学ぶ
授業の進め方	座学中心ではあるが、一部実践を取り入れて進行する
達成目標	就職活動を始めるうえでの基礎的スキルやマインドを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職活動の心構え 2 現在の就職を取り巻く環境 3 身だしなみ１（頭髪など） 4 身だしなみ２（スーツの着こなし） 5 正しい言葉遣い１（敬語の使用方法） 6 正しい言葉遣い２（ビジネス会話） 7 正しい言葉遣い３（復習および反復練習） 8 正しい言葉遣い４（効果測定） 9 立ち居振る舞い１（立ち姿勢・お辞儀） 10 立ち居振る舞い２（表情・挨拶） 11 立ち居振る舞い３（復習および反復練習） 12 立ち居振る舞い４（効果測定） 13 電話の掛け方１（基本所作） 14 電話の掛け方２（実践会話） 15 電話の掛け方３（復習および反復練習） 16 電話の掛け方４（効果測定） 17 ペン習字１ 18 ペン習字２ 19 ペン習字３ 20 ペン習字４ 21 エントリーシートの記入方法１（レクチャー） 22 エントリーシートの記入方法２（経歴欄の仮作成） 23 エントリーシートの記入方法３（自己PR等を含めた仮作成） 24 エントリーシートの記入方法４（提出用シート作成） 25 面接試験の評価方法１（個人面接） 26 面接試験の評価方法２（集団面接） 27 面接試験の評価方法３（集団討論） 28 自己分析１ 29 自己分析２ 30 自己分析３ 31 自己PR作成１ 32 自己PR作成２ 33 自己PRの発表準備１ 34 自己PRの発表準備２ 35 効果測定 36 求人票の見方 37 業界研究の手法 38 業界研究１ 39 業界研究２ 40 業界研究３ 41 業界研究の発表準備１ 42 業界研究の発表準備２ 43 業界研究の発表準備３ 44 業界研究の発表準備４ 45 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	97
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	秋試験10職種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	

授業計画

1	受験職種研究１（職種①）	31	受験職種研究１６（職種⑥）
2	受験職種研究２（職種①）	32	受験職種研究１７（職種⑥）
3	受験職種研究３（職種①）	33	受験職種研究１８（職種⑤）
4	模擬個人面接１（職種①）	34	模擬個人面接１６（職種⑤）
5	模擬個人面接２（職種①）	35	模擬個人面接１７（職種⑤）
6	模擬個人面接３（職種①）	36	模擬個人面接１８（職種⑤）
7	受験職種研究４（職種②）	37	受験職種研究１９（職種⑦）
8	受験職種研究５（職種②）	38	受験職種研究２０（職種⑦）
9	受験職種研究６（職種②）	39	受験職種研究２１（職種⑦）
10	模擬個人面接４（職種②）	40	模擬個人面接１９（職種⑦）
11	模擬個人面接５（職種②）	41	模擬個人面接２０（職種⑦）
12	模擬個人面接６（職種②）	42	模擬個人面接２１（職種⑦）
13	受験職種研究７（職種③）	43	受験職種研究２２（職種⑧）
14	受験職種研究８（職種③）	44	受験職種研究２３（職種⑧）
15	受験職種研究９（職種③）	45	受験職種研究２４（職種⑧）
16	模擬個人面接７（職種③）	46	模擬個人面接２２（職種⑧）
17	模擬個人面接８（職種③）	47	模擬個人面接２３（職種⑧）
18	模擬個人面接９（職種③）	48	模擬個人面接２４（職種⑧）
19	受験職種研究１０（職種④）	49	受験職種研究２５（職種⑨）
20	受験職種研究１１（職種④）	50	受験職種研究２６（職種⑨）
21	受験職種研究１２（職種④）	51	受験職種研究２７（職種⑨）
22	模擬個人面接１０（職種④）	52	模擬個人面接２５（職種⑨）
23	模擬個人面接１１（職種④）	53	模擬個人面接２６（職種⑨）
24	模擬個人面接１２（職種④）	54	模擬個人面接２７（職種⑨）
25	受験職種研究１３（職種⑤）	55	受験職種研究２８（職種⑩）
26	受験職種研究１４（職種⑤）	56	受験職種研究２９（職種⑩）
27	受験職種研究１５（職種⑤）	57	受験職種研究３０（職種⑩）
28	模擬個人面接１３（職種⑤）	58	模擬個人面接２８（職種⑩）
29	模擬個人面接１４（職種⑤）	59	模擬個人面接２９（職種⑩）
30	模擬個人面接１５（職種⑤）	60	模擬個人面接３０（職種⑩）

成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	98
授業科目	公官庁講話
実務家教員	―
	―
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義
授業計画	1 職種別ガイダンス１ 2 職種別ガイダンス２ 3 職種別ガイダンス３ 4 職種別ガイダンス４ 5 職種別ガイダンス５ 6 職種別ガイダンス６ 7 職種別ガイダンス７ 8 職種別ガイダンス８ 9 職種別ガイダンス９ 10 職種別ガイダンス10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	99
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う
教科書	なし
特記	
授業計画	1 精通者における講義 2 筋力トレーニング・ストレッチ運動 3 集団演技① 4 集団演技② 5 集団演技③ 6 集団演技④ 7 集団演技⑤ 8 集団演技⑥ 9 集団演技⑦ 10 集団演技⑧ 11 集団演技⑨ 12 集団演技⑩ 13 集団演技⑪ 14 集団演技⑫ 15 球技
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、出席状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	100
授業科目	職業実務Ⅰ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	地方行政に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 地方行政の取り組み（講義） 2 地方行政の取り組み（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 研究発表準備 7 研究発表プレゼンテーション 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100%　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	101
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義１ 2 実務経験者における講義２ 3 実務経験者における講義３ 4 実務経験者における講義４ 5 レポート作成１ 6 レポート作成２ 7 レポート作成３ 8 レポート作成４
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	102
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	消防署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義１ 2 実務経験者における講義２ 3 実務経験者における講義３ 4 実務経験者における講義４ 5 レポート作成１ 6 レポート作成２ 7 レポート作成３ 8 レポート作成４
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	103
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	現役の国家公安職公務員の講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者の講師による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義１ 2 実務経験者における講義２ 3 実務経験者における講義３ 4 実務経験者における講義４ 5 レポート作成１ 6 レポート作成２ 7 レポート作成３ 8 レポート作成４
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	104
授業科目	職業実務Ｖ
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	官公庁(国家公安職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。
授業の進め方	官公庁（国家公安職）からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義１ 2 実務経験者における講義２ 3 実務経験者における講義３ 4 実務経験者における講義４ 5 レポート作成１ 6 レポート作成２ 7 レポート作成３ 8 レポート作成４
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
科目番号	105
授業科目	行政研究
実務家教員	–
	–
学部・学科	スポーツ学科
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした実習
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 課題研究４ 7 課題研究５ 8 課題研究６ 9 研究発表シナリオ作成１ 10 研究発表シナリオ作成２ 11 研究発表準備１ 12 研究発表準備２ 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100%　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	